



寄って 話して 自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム


コミュニケーション!?

～あなたが大切にしたいこと～



あなたが地域社会の一員として、あるいは親になったとき、自分だけでなく他の人の視点に立って物事を見ること、相手の立場やその時の状況を創造する力がますます必要になってきます。一人ひとりが充実した学校生活や社会生活をおくるために、大切な人や友人、家族や先生、地域の人々とどのように関わっていくことが大切なのか、一緒に考えてみましょう。


考えましょう

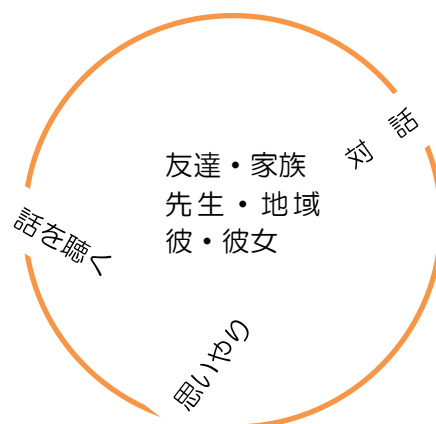
- ① コミュニケーションということで、思いつくことをできるだけたくさん書き出しましょう。 
- ② 次にあげた人たちとコミュニケーションをとるために大切なことは何ですか？
- 友達
 - 家族
 - 地域の人
 - 学校（先生，部活仲間など）
 - 彼，彼女（つき合うとしたら？）



グループで出し合いましょう 話し合いましょう

自分で考えたことを出し合って，出し合った意見や考えから，キーワードや気づき，感想，大切にしたいことを「えんたくん」に書き出しましょう。

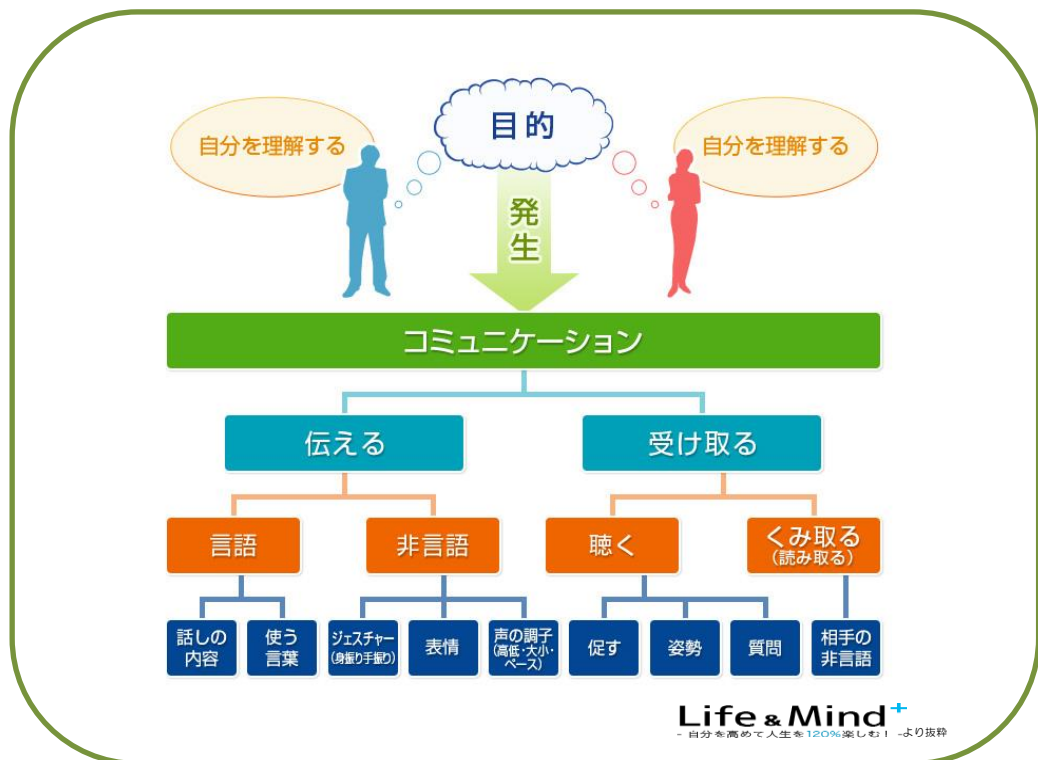
「えんたくん」に書いてみよう 



参考資料

コミュニケーション能力とは、意思疎通によって人を理解し、人に理解してもらう能力です。具体的には、次の2つの能力で構成されています。

- 1 「伝える（話す）能力」
- 2 「受け取る（聴く）能力」



「コミュニケーションの際、話している内容と、声のトーンや態度に矛盾があった時、人はどんな受け止め方をするのか？」

言語情報・・・ 7%
聴覚情報・・・ 38%
視覚情報・・・ 55%

「話の内容そのもの（言語情報）よりも、声のトーンや大きさ（聴覚情報）の方が相手に伝わる影響力が大きい。」（38%）
「話の内容そのもの（言語情報）よりも、ボディランゲージや見た目の印象（視覚情報）の方が相手に伝わる影響力が大きい。」（55%）

学習を振り返りましょう

今日の学習の中で、思ったこと、感じたこと、気づいたことなどを書いてみましょう。

「親7口」ってなに？

県の家庭教育支援「『親の力』をまなびあう学習プログラム」の通称です。子育て中の親だけでなく、中学・高校生等の青少年や妊娠期の方、様々な世代の地域の方などを対象とした「参加型学習プログラム」です。参加者同士が同じ立場で、考えを交流し合うことによって、よりよい子育てについて気付いていく場を提供しています。みんなの力で、それぞれが自分に合った「こたえ」を見つけていきます。「養成講座」を修了したファシリテーターが、参加者が安心して意見を出し合い、話を聞くことができるように学習を進行していきます。



【お問合せ】 〒728-0011 三次市十日市西六丁目 10 番 45 号みよしまちづくりセンター内
三次市教育委員会文化と学びの課文化学習係
TEL : 0824-64-0092 FAX : 0824-64-0067 E-mail : bunka@city.miyoshi.hiroshima.jp
〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47 広島県立生涯学習センター
TEL : 082-248-8848 FAX : 082-248-8840 E-mail : sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp